

英文ライティング教材の開発

中野 美知子[†] 中澤 真[‡] 赤塚 裕哉¹ 梅澤 克之² 上田 倫史³
 早稲田大学[†] 会津大学[‡] 早稲田大学¹ 湘南工科大学² 駒沢大学³

要旨

文部科学省は、平成 29・30 年度に小・中・高の学習指導要領を改訂し、「話すこと」「書くこと」の活動はさらなる強化が必要と指摘した。本研究では、特に強化が必要と指摘されている「書くこと」の強化を図るための、ディスカッション（議論）と論理的なライティングが融合される指導方法を検討してきた。2 年間の実証研究の結果、構成の整った意見文が書けることが最終目標と結論した。過去 2 年間では、500 語の記述文を読み、意見文を書かせていた。ここでは記述文の語彙分析を行い、問題点を突き止めることにした。今回は、記述文を与えず、18 歳から選挙権が与えられていることへの意見文を書かせる課題と過去の実績とを比較することにした。

記述文の語彙分析

語彙は大学英語教育学会が作成した JACET8000 に基づいて開発された Word Level Checker (Ver. 1.5)」（染谷泰正 1998）を活用した。内容語ばかりでなく、機能語も含めた語彙レベルを判定できた。設問文の難易度は CEFR-based Vocabulary Analyzer (CVLA) ver.2.0, Uchida, S. and M. Negishi (2018) Assigning CEFR-J levels to English texts based on textual features. In Y. Tono and H. Isahara (eds.) Proceedings of the 4th Asia Pacific Corpus Linguistics Conference (APCLC 2018), pp. 463-467 を使用した。CEF (Common European Framework of Reference) とは欧州共同体が提案した語学教育の国際基準をさす。

JACET8000 による文 s 期は表 1 に示す。

表 1 JACET8000 による語彙分布

JACET Level	Video Games	移民	失業と移民	動物実験	観光
?	11	56	32	34	36
1000 語	365	369	329	404	272
2000 語	41	30	31	53	46
3000 語	7	21	15	13	14
4000 語	15	6	20	12	9
500 語	6	14	6	5	16
6000 語	4	2	2	2	2
7000 語	2	0	1	6	3
8000 語	1	3	1	4	3
合計	472	501	437	532	406
ARI	13.8	15.5	10.9	10	14.5

Note: ARI は Automated Readability Index で読みやすさの指標。CEFR のレベルは日本での英語教育の関連は表 2 にまとめて示す。

表 2 CEFR と日本での英語教育

レベル	語彙数	日本の英語教育
A1	1166	小学校から中 1
A2	1411	中 2 から高 1
B1	2445	高 2 から受験レベル
B2	2779	大学受験から大学教養レベル
合計	7801	

以上のことから、JACET8000 は日本の英語教育の指標になることも確認できる。また、CEFR の C1 と C2 は日本での英語教育のさらに上をいくものであり、Writing タスクが高校 3 年生のものである以上、B2 レベルを目指すべきことも銘記すべきである。

CWLA は、読みやすさの指標 Automated Readability Index (ARI)、1 文に書かれている動

Developing Online Tasks in English

[†] Michiko Nakano Waseda University

[‡] Makoto Nakazawa, Aizu University

Yuya Akatsuka, Waseda University

Katuyuki Umezawa, Shonan University of Technology

Norifumi Ueda, Komazawa University

詞の数の平均 Verbs per Sentence, 語彙の難易度の平均 Average Difficulty, A レベルの語彙数に対する B レベルの語彙数 B words per A words から、CEFR のレベル判定をしている。観光の記述文を例にとり、説明する。表 3 が観光の文章のレベル判定をしている。

表 3 観光の記述文

観光	ARI	VperSent	AVDiff	BperA	
A1	5.73	1.49	1.31	0.08	①
A2	7.03	1.82	1.41	0.12	②
B1	10	2.37	1.57	0.18	
B2	12.33	2.88	1.71	0.26	
Input	13.63	2.57	2.17	0.65	
Estimated Level	C1	B1.2	C2	C2	C2

4 つの指標の下に各レベルの平均値が示されている。例えば、ARI なら、A1 で、普通 5.73 と計算されるが、我々の input でじゃ 13.63 だから、レベルとしては C1 となる。4 つの指標を総合して、観光という文章は C2 と判定されている。

表 4 は実験に用いた記述文全部の分析結果を示している。

表 4 記述文の分析結果

記述文	CEFR
Video Games	C2
移民	C2
移民と失業	C2
動物実験	C1
観光	C2
留学	C2

従って、高校 3 年生にとってはすべての記述文が難関であったことが示された。書き直してみても変化がなかったため、今回は日本語で英文タスクの課題を与えることとした。

2022 年度の課題

18 歳からの選挙権についてのあなたのご意見を書いてください。

2016 年の夏に選挙権が「20 歳以上から 18 歳以上」に引き下げられ、2017 年から施行されています。その理由は、①高齢化が進んでいるので、若い有権者を増やしたい、②欧米諸国が 18 歳で選挙権が与えられているので、世界の傾向に合わせたい、③憲法改正に必要な国民投票が 18 歳なので、合わせたいというものでした。このような

背景で選挙権の年齢が 18 歳となりましたが、あなたの意見はどうですか？250 語から 300 語で書いてください。

Keywords: voting rights, national referendum, social participation, certificates of residence

オピニオンエッセイで求められるのは、次のことです。

- ① 序論では、背景とあなたの主張を書く
- ② 本文では、主張の説明を証拠（あなた自身の体験を含む）とともに詳しく示す。主張に対する反論を証拠とともに示す。反論は 2 種類提示してください。反論を反駁し、あなたの主張の正当性を示してください。
- ③ 結論で、あなたの主張の正しさを結論づけてください。

2021 年度の記述文付きの意見文の結果は、平均点 (73.35) SD:10.20、2022 年度では平均点 62.42、SD11.74 で、F 値 1.78 で、等分散を仮定した両側検定の T-test は 1.763 で、優位傾向があった。やはり、記述文が意見文の見本の役割を果たすことから、教育効果は記述文付きの練習のほうが良いといえよう。

参考文献

Word Level Checker (Ver. 1.5)」(染谷泰正 1998)

CEFR-based Vocabulary Analyzer (CVLA) ver.2.0, Uchida, S. and M. Negishi (2018) Assigning CEFR-J levels to English texts based on textual features. In Y. Tono and H. Isahara (eds.) Proceedings of the 4th Asia Pacific Corpus Linguistics Conference (APCLC 2018), pp. 463-467.

内田・根岸雅史 英語読解教材の CEFR レベルの推定 Journal of Corpus-based Lexicology Studies, 3:1

文部科学省 中学校学習指導要領 (平成 29 年告示)

文部科学省 中学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説

文部科学省 高等学校学習指導要領 (平成 30 年告示)

文部科学省 高等学校学習指導要領 (平成 30 年告示) 解説

国立教育政策研究所・教育課程研究センター (2020) 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料